

ねこを飼っておられる皆さま、 これから飼われる皆さまへ

—あなたのねこがご近所からも愛されるために—

ねこに「庭を荒らされた」「鳴き声がうるさい」「庭にふんや尿をされた」など、ねこに関する苦情が寄せられています。これらの苦情のほとんどは、飼い主の方が飼い方に気をつけていただければ改善できるものです。人とねこが幸せに暮らすために、ご近所に迷惑をかけないよう責任を持って飼育しましょう。

ねこは屋内で飼うことをおすすめします

ねこは生活環境が整っていれば、屋内飼育は可能です。感染症の防止、交通事故の防止等、ねこの健康と安全のために、屋内で飼うように努めましょう。特に子ねこのときから屋内のみで飼い、不妊又は去勢手術をし、トイレなどをおぼえさせれば屋内飼育の定着は容易といわれています。

屋内で飼うときの留意点

- プライベートな縄張りとして、最低限必要な空間の提供
隠れ場所、食事の場所、トイレの場所、見張り台、遊び場所、休息場所など
- しつけと管理
定位置での排泄と食事、トイレ砂の管理や清掃、決まった場所で爪とぎをさせる、抜け毛の管理など
- 問題行動の軽減
雄ねこの尿スプレー、発情期の鳴き声、性衝動ストレス等は不妊去勢手術をすることにより軽減
- ストレスの解消
高いところなどの立体的な運動ができること、おもちゃで遊ばせることなど
- その他
感染症予防ワクチンの接種、高層住宅等での転落防止、外へ出てしまい迷子になった時のため名札などをつける、など

おうちの中は
安全だにゃん♥

外に出ると、こわい
病気をうつされたり
交通事故にあったり
するのよ。



不妊・去勢手術をしましょう

保健所に引き取られるねこの約7割は、子ねこです。ねこは出産回数が年3回ということもあり、1回に生まれる子猫は平均5匹です。生まれても飼えないときは、繁殖制限をしましょう。



手術すると、こんなメリットもあるといわれています

- メス、オスともに
生殖器の病気を防ぐ 性格が穏やかになる 屋内飼育が容易 長生きできる
- メス
妊娠・出産に伴う健康上のリスクの回避 発情によりオスがたくさん集まることを回避
- オス
尿スプレー（おしっこをかける行動）、ケンカ、うなり声がかかりの確率でなくなる